

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属	株式会社 玄				
役職	代表取締役				
氏名	政所 利子	ふりがな	まんどころ としこ	生年	
連絡先住所	〒110-0001	台東区谷中5-7-7			
電話番号	03-5685-9249	メールアドレス	gen■castle.ocn.ne.jp (■を@に変えて下さい)		

2. 経歴・取組内容、取組分野等

主な経歴・受賞歴	<p><経歴></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1988年 株式会社 玄 設立 ◆1988年 地域振興アドバイザー(国土交通省) ◆1996年 財団法人 北区勤労者サービスセンター 理事(2012年3月迄) ◆2001年 伝統的工芸品産地プロデューサー(財伝統的工芸品産業振興協会) ◆2003年 「過疎地域自立活性化優良事例表彰委員会」委員(総務省) ◆2007年 内閣官房 地域活性化伝道師 ◆2007年 「地方制度調査会」委員(～2009年)(内閣府) ◆2008年 「女性人材データベースシステム」登録(内閣府) ◆2008年 「VISIT JAPAN 大使」(2010年10月に「YOKOSO! JAPAN 大使」より改名)(国土交通省観光庁) ◆2009年 「地方の元気応援人材ネットワーク」登録(内閣官房地域地域活性化統合事務局) ◆2010年 「富山県男女共同参画人材バンク」登録(富山県) ◆2012年 一般財団法人 東京城北勤労者サービスセンター 評議員に就任 ◆2013年 一般財団法人 ロングステイ財団理事に就任 ◆2015年 ミラノ国際博覧会日本館サポーター(農林水産省/経済産業省/JETRO) 				
主な取組内容、実績等	<p><取組の内容></p> <p>古来から外部との交流を重ねつつ、地域の遺伝子気質を地域人は継承して来ました。命や環境に心配りをしながら地域づくりがされて来ました。地域が主体的地域振興を推進する上で、各地域基盤を明確に見極め、地域遺伝子を継承する方法論も重ねた具体策が大切です。伝統と現代、環境と社会、個人とコミュニティ、といったバランスも必要です。地元自らが地元学を磨き、新時代への戦略づくりを総合的に深めなければなりません。「地元が地域を知る」新視点で見つめ直す、守るべき点は明確化したその上で未来設計図を描かなければなりません。様々な制約条件下にあるとは言っても、地域の観察者である住民力と地元の匠の技量を活かすべきです。地域資源活用型産業構築と基盤づくりには、地域が総体力結集させていくことが大切です。人材育成と水平ネットワークが鍵であり、公共支援としては、持続的経営を目標とした文化と産業を見据えた両輪の政策が不可欠です。</p> <p><実績></p> <p>商品開発は必ずヒットさせます。「ヒットとは」それは、地域の新しい資源とさせるパワーを地域に根づかせることです。商品開発における一貫プロデュースが評価され、営業成果に結実しています。観光戦略等においては動員増や新規顧客の開拓等、地域活性化に直接的なプラス収益を生み出しています。</p>				
取組分野	○	1	観光振興	7	住民参加・協働
		2	産業振興	8	イベント交流
		3	過疎地域・限界集落の振興	9	食品流通
	○	4	中心市街地活性化	10	環境
		5	まちづくり景観	11	NPO・ボランティア
	○	6	農林水産品の開発・ブランド化	○	12 その他(定住促進、地域経営改革)

3. 関連ホームページ

名称	アドレス
株式会社 玄	http://gen-office.com/

4. ふるさと財団での実績	
地域再生マネージャー	◆2012年度 岩手県金ケ崎町 「地域資源を活かしたシティープロモーション」
地域再生セミナー講師	
環境整備型マネージャー	
短期診断マネージャー	◆2011年度 新技術・地域資源開発人材活用支援 北海道釧路市(長江建材) ◆2012年度 新技術・地域資源開発人材活用支援 青森県六ヶ所村 ◆2012年度 新技術・地域資源開発人材活用支援 鹿児島県大島郡 瀬戸内町
5. 財団報告書	
名称	アドレス
平成24年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/1-H24-shinchiiki-houkokusyo.pdf
6. 写真・ひとことPR	
	<p><ひとことPR></p> <p>地域活性化コンサルタントとして全国各地の産業活性化のアドバイスと実践に従事しています。多様な価値観や従来型社会経済システムの限界が指摘され、国・地域・企業・組織・個人の「役割と存在」自体が問われています。長期的視点に立ち、地域資源を再評価しての地域経営環境の再整備が必要です。地域社会の課題は、複合的な要因が重なりつつありますが、今こそ、地域の真価を発揮させる好機でもあります。「自立性への第一歩」を見出すべく『地域総体力を発揮した新ビジネス』の戦略・戦術づくりを主軸に置き、地域力の再生と総結集のしくみづくりを実践する時代的存在のある現場主義に重点を置いています。</p>